Domaine Hubert Lignier

ドメーヌ ド ユベール リニエ

力強さの中に繊細で優美なエレガンスが広がる



ユベール・リニエの歴史は 1880 年にジャック・リニエがブドウ栽培を開始したことから始まります。1970 年代にユベール・リニエがブドウ栽培農家からドメーヌへと事業を拡大し、瞬く間に入手困難なブランドとしての地位を確立しました。1990 年代に末息子のロマンがドメーヌのワイン造りを受け継ぎました。肉厚で凝縮感のある力強いスタイルを持つユベールのワインに、エレガンスとバランスの良さを付け加えたロマンのワインは大成功を収め、従来のスタイルを支持していたアメリカ市場だけでなく、世界中から新たなファンを獲得しました。

2004 年にロマンが他界してからは、ロマンの兄ローランが当主となり、バランス重視の姿勢を堅持しています。現在、モレ・サン・ドニとジュヴレ・シャンベルタンを中心に約 9ha の自社畑を所有しています。畑では殺虫剤や除草剤は 25 年以上前から使用せず、2006 年からビオロジック農法(2019 年に公式認定取得)を採用。自然を敬い、地中の微生物の自然な発達を促すことこそが、ブドウがバランス良く生長してゆくための鍵であるとローランとユベールは信じています。

ワイン造りは、自然に任せた伝統的手法を守っています。良いワインを造るには、品質の高いブドウを使用することが必要不可欠であるという信念のもと、手摘みで収穫したブドウは、発酵槽に移す前に手作業で厳しく選別します。レジョナルクリュからグランクリュに至るまで、それぞれのテロワールやアペラシオンの個性を同じように尊重し、テロワールをピュアに表現したワイン造りを目指しています。

新樽率は必要最小限に抑え、シュールリー熟成の期間は、20～22 ヶ月間と比較的長めにとっています。澱引きは行わず、重力の力だけを利用して無清澄で瓶詰めすることにより、フレッシュでエレガントなスタイルを保持した熟成ポテンシャルの高いワインに仕上げています。

■2023 ヴィンテージ情報■≪バーグハウンド　＃97　2025/1/10 掲載記事より抜粋≫
ローラン・リニエ「2023 年はかなり豊作で、生育期を通じて絶えずブドウを間引いているような年でした。非常に早いスピードで開花を迎え、結実も非常に多く、驚くほどたくさんのブドウが実りました。長年この仕事に携わっている私にとっても予想を超えるもので、経験豊富な父も、これほどの豊作は久しぶりだと言っていました。8 月中旬までの気候は穏やかで、そこまで暑くなかったのでブドウが適切な熟度に達するかどうか、正直なところ不安でした。その後、気温は急上昇し、焼けつくような暑さととなり、今度は過熟しないか心配になりました。収穫は 9 月 9 日に開始しました。あれほど多く摘房したにもかかわらず、依然として収量は高く、45～50hl/に達し、グラン・クリュでも 39～40hl/ha となりました。潜在アルコール度数は 12.7～13.2%と適切な範囲に収まり、発酵には全房を約 1/3 使用しました。ワインはまだ発展途上にありますが、現時点では、2017 年をもっと良くしたようなヴィンテージです。私の中では上出来だと思います」

■2021 ヴィンテージ情報■≪バーグハウンド　＃89　2023/1/10 掲載記事より抜粋≫
ローラン・リニエ「2021 年は例年にない早さで生育が始まりましたが、4 月の霜害によって状況は一転しました。収量は大幅に減少したものの、その被害の程度は畑によって大きく異なりました。大部分の畑では 25～30hl/ha でしたが、シャフォとクロ・ド・ラ・ロッシュでは、それぞれ 75%、50%の減収となりました。6 月、7 月は雨が多く、ベト病が猛威を振るい、対策に大変苦労しました。さらに、ウドンコ病も発生し、この年の生育期は、まさに波乱に満ちたものとなりました。収穫は、コート・ド・ボーヌで 9 月 23 日、コート・ド・ニュイで 9 月 27 日に開始しました。さまざまな問題に遭遇しましたが、実際のところ、ブドウは、かなり健全で、予想以上によく熟していました。潜在アルコール度数は平均 12.5%でした。ブドウの果皮が比較的薄かったため、種子を傷つけないよう細心の注意を払いながら、例年よりもしっかりと抽出しました。通常は醸造時に全房を一定割合で使用していますが、2021 年は使用していません。ワインは軽やかで、優れたフィネスを備えていますが、ボリュームもしっかり感じられます。余韻も素晴らしく、テロワールの個性がこれほど明瞭に表れたのは、おそらく 2014 年以来のことです。若いうちから楽しめますが、熟成に耐えうるバランスも備えています」

2023 Bourgogne Pinot Noir Symbiose　上代価格 ￥8,300 (税抜)

ブルゴーニュ ピノ ノワール サンビオーズ　JAN コード:4543190189040



ムルソー、ポマール、ヴォーヌ・ロマネに位置する 4 つの小区画のピノ・ノワールをブレンド。それぞれの異なるテロワールの個性が見事に調和したワインで、赤スグリやチェリー、野イチゴを思わせる豊かな果実味が魅力です。「サンビオーズ」は、フランス語で「共生」や「調和」を意味します。

【辛口/赤】 品種:ピノ・ノワール 100%　アルコール度数:13%　畑:ムルソー村(レ・デュロ)、ポマール村(シャルヴェ、ソルバン)、ヴォーヌ・ロマネ村(ラ・クロワ・ブランシュ)に位置する、4 つの小区画
醸造:オーク樽で 15 ヶ月熟成。

★バーグハウンド★Outstanding(傑出したワイン) 87-89 点:幾層にも重なるレッドチェリーやダークチェリーの香りに、土やスパイスのニュアンスが加わる。躍動感があり、しなやかさと緻密さを兼ね備えたミディアムボディの味わい。引き締まった後味は野趣を帯び、厳格な印象。このクラスのワインとしては、驚くほど余韻が長い。伝統的なスタイルのブルゴーニュで、数年の瓶内熟成を経て真価を発揮するタイプ。その点を踏まえて選びたい。**≪飲み頃:2028 年以降｜＃97　2025/1/10 掲載≫**

担当:　@millesimes.co.jp　株式会社ミレジム Tel.03-3233-3801　Fax.03-3295-5619
Millésimes

2023 Pommard En Brescul　上代価格 ￥17,500 (税抜)

ポマール アン ブレスキュル　JAN コード:4543190189057



2014 年に取得したポマール「ブレスキュル」の区画は、アペラシオン北部、ボーヌの街とクロ・デ・ムーシュを見下ろす斜面に位置しています。急傾斜のため、畑は 3 段のテラス状に整備されており、そこで育つピノ・ノワールは、瑞々しい果実味とミネラル感を備えたワインを生みます。

【辛口/赤】 品種:ピノ・ノワール 100% アルコール度数:13.5% 畑:ポマール(アン・ブレスキュル)
植樹:1997 年 畑面積:約 16ha

★バーグハウンド 87-90 点:外観は深みのあるルビー色。赤スグリやカシスを思わせる涼やかで軽やかな香りに、明瞭な土のニュアンスが重なる。ミディアムボディの心地よい味わいで、撫でるような柔らかさと官能的な質感を備えている。後味にはパウダリーなニュアンスがあり、若々しく引き締まった厳格な印象だが、タンニンの収斂感は穏やか。
≪飲み頃:2029 年以降 | #97 2025/1/10 掲載≫ 他誌評価:★ヴィノス 87-89 点

2021 Nuits Saint Georges 1er Cru Les Didiers　上代価格 ￥33,000 (税抜)

ニュイ サン ジョルジュ プルミエ クリュ レ ディディエ　JAN コード:4543190186285



オスピス・ド・ニュイのモノポールの畑が生み出すきめ細やかなタンニンを伴うエレガントな味わい。

【辛口/赤】 品種:ピノ・ノワール 100% アルコール度数:14% 畑:オスピス・ド・ニュイのモノポール
※毎年 3 月に開催されるホスピス・ド・ニュイのワインオークションで、2005 年ヴィンテージ以来、228L の樽を購入

★ワイン・アドヴォケイト 87-88 点:プラムや花びら、燻製肉、オレンジの皮を思わせる香りが広がる。ミディアムボディの味わいで、やや引き締まった余韻が印象的。**≪2023/2/1 掲載≫**

2021 Clos de Vougeot Grand Cru　上代価格 ￥66,000 (税抜)

クロ ド ヴージョ グランクリュ　JAN コード:4543190186292



時間とともにその真価を発揮する、力強さと豊かな風味を備えたクロ・ド・ヴージョ。

【辛口/赤】 品種:ピノ・ノワール 100% アルコール度数:13.5% 土壌:石を多く含む粘土質

2020VT★ワイン・アドヴォケイト 91-93 点:ワインの状態で購入したネゴスワイン。カシス、プラム、ワイルドベリーのアロマをクリーミーな新樽の香りが縁取る。ベルベットのような滑らかさと生き生きとした活力を感じさせるミディアム～フルボディーの味わいで、絶妙なバランスが印象的。今後の発展が期待できる。**≪2022/1/21 掲載≫**

担当: @millesimes.co.jp 株式会社ミレジム Tel.03-3233-3801 Fax.03-3295-5619